

## 1. 競技規則について

本競技会は、2026 年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技会の申し合わせ事項により実施する。

## 2. 競技場内で着用できる衣類と持ち込める物品について

「競技会における広告および展示物に関する規程」〔国内〕により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については下記のとおりであるので事前に確認しておくこと。違反している場合はテープ等でマスキングを行う。

## アスリートキット

(1) 競技用の衣類（トップス、ベスト、パンツ、レギンス等）、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット、トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット

○上衣 下衣 （それぞれ）

・製造会社名/ロゴ：一箇所 40 cm<sup>2</sup>まで（最大高さ 5 cm・最大長さ 10cm）

※場所は問わない

・スポンサー名/ロゴ：二箇所 40 cm<sup>2</sup>まで（最大高さ 5 cm・最大長さ 10cm）

※上衣、下衣ともに全く同一の表示でなければならない

・学校名/ロゴ：上衣 前後 各一箇所（大きさは問わない）

下衣 一箇所（大きさは問わない）

(2) 競技者が着用するその他のキットや衣類（靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド等）

・製造会社名/ロゴ：（一つに）一箇所 10 cm<sup>2</sup>まで（最大高さあるいは長さ 4cm まで）

・学校名/ロゴ、都道府県名/ロゴ：一箇所 大きさを問わない

※ただし、メガネおよびサングラスについては二箇所表示することができる。

## 個人の所有物およびアクセサリ

(1) タオル バッグ

・製造会社名/ロゴ：一箇所 40 cm<sup>2</sup>まで（最大高さ 5 cm・最大長さ 10 cm）

・アスリートスポンサー名/ロゴ：二箇所 40 cm<sup>2</sup>まで（最大高さ 5 cm・最大長さ 10 cm）

※アスリートスポンサー名/ロゴのうち一つを、あるいは、競技者名または個人的なソーシャルメディアハッシュタグを、所属団体名/ロゴまたは学校名/ロゴにできる（高さ 5cm まで、長さ制限なし）。

(2) 飲料ボトル

ペットボトルを持ち込む場合はラベルをはがすこと。

(3) 医療用テープ/一般的なテープ（商品名/ロゴの表示あり）

・製造会社名/ロゴ：10 cm<sup>2</sup>まで（1 枚につき）

## 3. 練習について

別紙【練習に関する注意事項】を参照。

## 4. 参加受付について

参加受付は下記の期日、時間、場所で行う。

アスリートビブス、プログラムを配付するので、チーム代表者が一括で受け取ること。

期日	受付時間	受付場所
4 月 23 日(木)【大会前日】	13:00~17:00	正面玄関前受付
4 月 24 日(金)~26 日(日)【大会期間中】	開門時刻~閉門時刻	TIC (招集所前)

ハンマー投については下記のとおり受付を行う。（特別アスリートビブスは当日の受付で配付する。）

期日	受付時間	受付場所
4 月 23 日(木)【大会前日】	13:00~17:00	正面玄関前受付
4 月 24 日(金)【大会 1 日目】	開門時刻~閉門時刻	TIC (招集所前)
4 月 25 日(土)【競技実施日】	8:00~招集時間	仮大会本部テント

## 5. 各種書類について

大会期間中の各種書類の配付および提出の窓口については、下記の通りとする。

書 類 名	配付場所	提出先・依頼先
欠 場 届	TIC	TIC
重 複 出 場 届		
質問・抗議受付用紙		
記 録 証 明 書		
第 4 位から第 8 位までの賞状		

※TIC は招集所前に設置する。

## 6. 招集について

(1) 招集所は、マラソングート付近（ホームストレート側 100m スタート地点付近）に設置する。

なお、棒高跳の招集は競技実施場所（バックストレート側ピット）、ハンマー投の招集は東海大学湘南校舎陸上競技場の競技実施場所にて行う。

(2) 種目別、組別の招集完了時刻は、プログラムの競技日程に記載のとおりとする。

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、その種目を欠場するものとみなす。

(4) 招集の方法は、次のとおりとする。

①競技者は、**招集完了時刻までに招集所に集合し**、競技者係から腰ナンバー標識（トラック競技に出場する競技者のみ）および荷物運搬袋を受け取り、当該種目に出場する競技者本人が点呼を受け、下記のチェックを受けること。

- ・アスリートビブスを付けたユニフォーム・競技用靴およびスパイクピン
- ・持ち込み衣類、持ち込み物品
- ・所有物の商標のチェック

その後、競技役員の指示に従い、競技実施場所へ移動する。

②競技規則 TR6.3.2 に記載の機器および通信機能を有する機器を招集所からミックスゾーンまでの競技場内に持ち込むことはできない。違反した場合は助力を受けたものとして警告・失格の対象となる。ただし、フィールド種目に出場している競技者に対して、録画映像を提供する者のすぐ近く（コーチング エリア近辺）であれば、録画した機材（ビデオ装置・携帯電話等）を競技者自身が手に取り、操作して確認することが認められる。しかし、競技者自身が録画機材等を招集所から持ち込むこと、コーチングエリア近辺での映像確認後に競技場所等へ録画機器を持ち込むことは禁止とする。

③同時に行われる複数の種目に出場する競技者は、招集を受けることのできない種目の招集完了時刻までに、「重複出場届」に必要事項を記入し、TIC に提出する。「重複出場届」は、TIC で配付する。

④**招集完了時刻は招集所備え付け時計を基準とする**。招集完了時刻に遅れた競技者は、その種目を欠場したものとみなす。

⑤欠場者の人数により、レーンを変更し競技を実施することがある。

## 7. 欠場について

やむを得ず本競技会への出場を辞退する場合は、次の要領で「欠場届」を提出する。

欠場は番組編成に影響することがあるため、わかり次第すぐに提出すること。

(1) 4 月 22 日(水)までは、本連合 HP (<https://www.iuau.jp/>) に掲載してある「欠場届」に必要事項を記入し、FAX (03-5304-5569) で提出する。

(2) 4 月 23 日(木)は、レモンガススタジアム平塚正面玄関にある「欠場届」に必要事項を記入し、その場で提出する。やむを得ず、競技場で提出できない場合は、FAX (03-5304-5569) で提出する。

(3) 4 月 24 日(金)以降は、TIC にある「欠場届」に必要事項を記入し、TIC に提出する。やむを得ず、TIC に提出できない場合は、FAX (03-5304-5569) で提出する。

(4) TR4.4〔国際〕はこの競技会には適用しない。

## 8. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、参加受付の際に 1 名につき 2 枚配付する。
- (2) アスリートビブスは、そのままの大きさで胸と背に確実につける。ただし、跳躍種目に出場する競技者は、胸または背だけでもよい。
- (3) トラック競技に出場する競技者には、腰ナンバー標識（2 枚）を招集時に配付する。なお、5000m・10000mW・日本 IC10000m ではトランスポンダー付きの腰ナンバー標識を使用する。トランスポンダー付きの腰ナンバー標識は左腰に、通常の腰ナンバー標識は右腰につけること。トランスポンダー付きの腰ナンバー標識は、レース終了後に回収する。
- (4) アスリートビブスの布地および数字の色は下記のとおりとする。

① 男子 『黄色地×黒数字』

② 女子 『ピンク地×黒数字』

③ 5000m・10000mW・日本 IC10000m 『白地×黒数字』

\* 5000m・10000mW・日本 IC10000m で使用する特別アスリートビブスは、招集完了時刻 1 時間前から TIC で配付する。その際、受付時に配付したアスリートビブスを持参すること。招集は特別アスリートビブスをつけた状態で行う。

④ ハンマー投 『白地×黒数字』

\* ハンマー投に使用する特別アスリートビブスは、競技実施日(25 日(土))に東海大学湘南校舎陸上競技場で配付する。招集は特別アスリートビブスをつけた状態で行う。

## 9. 用具について

- (1) 棒高跳用のポールは、各自が持参したものを使用する。ポールの保管場所は正面玄関入って、左側の通路とする。
- (2) その他の競技に使用する用具は競技場備え付けのものを使用する。ただし、投てき競技で、個人所有の投てき物の使用を希望する場合には日本陸連検定品かつ WA 認証品に限り(3)に従い、主催者の検査を受け使用を許可されたものに限る。
- (3) 個人所有の投てき物（一人 2 個まで）を使用する場合、事前に本連合 HP に掲載してある申請書に必要事項を記入し、下表の時間のとおり TIC に提出すること。検査を経て合格した投てき物に、主催者の用意するシールを貼るので、競技終了まではがしてはならない。この場合、個人所有の投てき物についてはルールに基づき、他の競技者との共用になる。
- (4) 申請書および投てき物は TIC に提出すること。

TIC 持ち込み締切時刻					
※ハンマー投に関しては直接、現地の検査場所へ持ち込むこと					
4 月 24 日(金)		4 月 25 日(土)		4 月 26 日(日)	
女子砲丸投	9:50	男子ハンマー投 (東海大学)	9:30	女子円盤投	9:00
男子やり投	11:45	女子ハンマー投 (東海大学)	13:00	男子円盤投	11:15
男子砲丸投	14:00				
女子やり投	15:55				

検査場所および返却場所については下記のとおりとする。

用具	検査場所および返却場所
砲丸、円盤、やり	レモンガススタジアム平塚 用器具庫(検査場所) TIC(返却場所)
ハンマー	東海大学湘南校舎陸上競技場 仮大会本部横

- (5) 個人所有の用具の破損に関して、主催者側は一切の責任を負わない。
- (6) 競技場の施設および備品を破損した場合は、TIC（東海大学湘南校舎陸上競技場の場合は仮大会本部）に申し出ること。

## 10. 競技について

- (1) トラック競技について
- ① トラック競技における招集完了後の練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ② 参加人数により、ラウンドを減らす場合がある。
- ③ 100m、200m、100mH および 110mH は B 決勝を行う。
- ④ 100m、200m、100mH および 110mH は、気象状況によりバックストレートで実施する。

- ⑤ 短距離種目では、衝突事故を防止するため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーンを走る。
- ⑥ 5000m、10000mW、日本 IC10000m は、気象状況により給水を行う。給水所はバックストレートに設置し、水およびスポンジを用意する
- ⑦ 10000mW においては、競歩審判員主任による単独失格権限ルール（TR54. 4. 1）を適用する。
- ⑧ 5000m、10000mW、日本 IC10000m 等の種目において、何らかのアクシデントで選手の競技を中止させたい場合、各チームの責任者は大会本部へ連絡すること。

## (2) フィールド競技について

- ① フィールド競技における招集完了後の競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ② 棒高跳の競技場所での練習は、競技開始 90 分前からゴム製バーを用いて行う。  
走高跳の競技場所での練習は、通常のバーを用いて行う。
- ③ 走高跳および棒高跳のバーの上げ方は原則として次のとおりとする。

種目・種別		練習	1	2	3	4	5	以降
走高跳	男子	2m00 2m10	2m05	2m10	2m13	2m16	2m19	+ 3 cm
	女子	1m60 1m70	1m65	1m70	1m75	1m78	1m81	
棒高跳	男子	5m00 5m20 5m40	4m90	5m10	5m20	5m30	5m40	+ 5 cm
	女子	3m60 3m80 4m00	3m50	3m70	3m80	3m90	4m00	

- ④ 三段跳の踏切板の位置は、男子 13m、女子は 11m とする。
- ⑤ 投てき競技の競技場内での練習は、1 回につき 60 秒以内とする。
- ⑥ 投てき競技の計測は、光波距離測定装置を使用する。
- ⑦ ハンマー投は、東海大学湘南校舎陸上競技場で行う。

## (3) 競技結果と番組編成について

- ① 各種目の結果の正式発表は大型スクリーンで行う。
- ② 記録で次のラウンドに進む競技者の決定について、同記録の競技者がいる場合は、写真判定員主任が 0.001 秒単位の時間を判定して決定する。それでも決定しない場合、当該の競技者または代理人による抽選とする。
- ③ 競技結果等は記録処理終了後、随時、日本学生陸上競技連合 HP にて発表する。競技結果および準決勝以降の番組編成リスト等は各自で確認すること。

掲載サイト <https://www.iuau.jp/ev2026/26kosen/26kojin.html>

## (4) その他

競技規則を厳格適用し、TR7.1 の適用により警告を 2 回受けた競技者は失格となり除外処分対象となるので、この競技会における以後のすべての種目に出場できなくなる。

## 11. 抗議と上訴について

競技結果の正式発表時刻は大型スクリーンに発表された時間を基準とする。競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が大型スクリーンに発表されてから、競技規則に定められた時間内に、その競技者または代理人が TIC（招集所前）に申し出る。その後、担当総務員を通して審判長に対して口頭で抗議を行う。さらに、この裁定に不服な場合は預託金（2万円）を添え、競技規則に定められた時間内に、その競技者または代理人が担当総務員を通して Jury に文書で申し出る。

なお、フィールド競技の抗議については、TR8.5〔国際〕を適用し、競技エリアで競技者本人から当該審判長が抗議を受け付け、裁定する場合がある。フィールド競技の判定に対して競技者自身が異議のある場合には、直ちに当該審判長に申し出ること。

## 12. ドーピング・コントロール・テストの実施について

- (1) 本競技会は、ワールドアスレティクス(WA)アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づく競技会（時）ドーピング検査対象大会である。競技会（時）検査は、大会前日 23 時 59 分から検査が終了するまでの期間であり、尿または血

液（あるいは両方）の採取が行われる。検査の対象に選ばれた該当者は、検査員の指示に従って検査を受けること（競技/運動終了から 1 時間の安静後に採血が行われることもあるので留意すること）。日本陸上競技連盟に登録していない外国人競技者も同様に従うこと。

- (2) 競技会（時）検査の対象となった場合、原則として顔写真付きの身分証明書が必要となる。大会のナンバーカードとともに、顔写真のついた学生証、運転免許証、または顔写真が鮮明なパスポートのコピー等を持参すること。
- (3) 本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング検査の対象となることに同意したものとみなす。したがって、本競技会参加者はドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- (4) 本競技会参加者は、JADA クリーンスポーツ・アスリートサイト (<https://www.realchampion.jp>) 等を利用して、アンチ・ドーピングについて事前に学習し なければならない。また本競技会においては、希望者が自由に参加可能な「アウトリーチ・プログラム」を実施し、アンチ・ドーピングについて学ぶことのできる機会を設けるので、ふるって参加されたい。

(5) TUE 申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない 競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会の HP (<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>) または日本アンチ・ドーピング機構の HP (<https://www.realchampion.jp/resources/000162.html>) および本連合 HP (<http://www.iuau.jp/index.html/>) 内の「知っておきたいアンチ・ドーピングの知識 2026 年版」を確認すること。禁止物質・禁止方法について TUE が付与されている場合には、その証明書（コピー可）をドーピング検査の際に担当検査員へ提出すること。

13. 表彰について

- (1) 各種目の第 1 位から第 3 位までに入賞した競技者には、メダルおよび副賞として奨励金を表彰式で授与する。競技終了後、速やかにエントランスホール内の表彰対象者待機場所に集合すること。
- (2) 表彰式の際の服装については、待機場所で配付するプレゼンテーションビブスをつけた公式 T シャツあるいはジャージを着用し、下は公式ジャージを着用すること。
- (3) 第 4 位から第 8 位に入賞した競技者には賞状を授与するので、TIC で受け取ること。
- (4) ハンマー投の表彰は、競技終了後現地でメダルセレモニーを実施する。現地の表彰担当者に従うこと。また、第 1 位から第 8 位の賞状は TIC にて配付する。
- (5) B 決勝は表彰の対象としない。

14. その他

- (1) スタートとフィニッシュの場所が異なるトラック競技では、招集所で配付された袋に入れられた衣類等をフィニッシュ地点付近まで運搬する。
- (2) 競技終了後すべての選手は必ずミックスゾーンを通過し、主催者が許可した報道関係者の取材を受けること。また、表彰式終了後に報道関係者の取材がある場合も協力すること。
- (3) 大会期間中の貴重品の管理は各自で行うこと。盗難および紛失に関しては一切の責任を負わない。なお、大会期間中に主催者に届けられた物品等については、一時的に TIC または観客窓口で保管する。届けられた忘れ物については、大会終了後 1 週間を目安に処分する。
- (4) 競技中に発生した傷害および疾病等についての応急処置は主催者において行うが、それ以後の責任は一切負わない。ただし、2026 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。必要な競技者は TIC において、スポーツ安全保険の事故報告書を受け取ること。
- (5) 救急車等の緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場側の許可なく手配しないこと。手配を希望する場合、大会本部が車両の手配を行うので、その際は、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- (6) 主催者が許可した場合を除き芝生への立ち入りは一切禁止する。
- (7) その他、不明な点は、下記に問い合わせること。

・競技に関する質問や抗議 TIC（招集所前）